

平成30年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p>
<p>【分析】道徳・心の教育の充実においては、学校での取り組みが保護者にも理解されてきている。しかし、もっと自分の思いに寄り添って欲しいという児童が14%見られるとともに、8%の児童が友だちと良好な関係が構築できていないことが伺える。</p> <p>【改善策】特に気になる児童については、毎週木曜日の「子どもを語る会」等で対応についての共通理解を図っており、これは今後も継続させていく。また、学級支援員や心のサポート相談員、スクールカウンセラー等と連携しながらより一人ひとりの思いに寄り添うことができる関わりを心がけていく。道徳教育に関しては、授業の充実とともに、11月の「心ががやけ月間」をはじめとし、ボランティア活動等を通して道徳実践意欲の向上を図ってきたい。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>【分析】2学期に電子黒板・実物投影機が各教室に整備され、積極的な活用がなされているところである。ICT活用は、「わかる授業・楽しい授業」につながっていくものと思われる。まだ意欲的に授業に取り組むことができていない11%の児童をはじめ、すべての児童が主体的・協働的に学ぶことのできる授業づくりを工夫していく必要がある。</p> <p>【改善策】新年度からは、タブレットが整備される。タブレットを活用することにより、更に児童の五感に訴えかける授業ができるものと期待する。教職員も研修を重ね、授業の工夫・改善に努めていく。算数においては、第3学年以上で少人数学習を行っているが、特に理解度の個人差が大きい教科であり、習熟度別集団編成をすることにより、より個に応じた支援・指導ができていところである。市の学力テストの結果にもその効果が現れてきているので継続していく。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

<h4>7 健康づくり</h4> <p>子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>	
<p>【分析】「できていない」という回答が3割とも20%前後である。「よくできている」という回答からも児童と教職員の意識の差が大きいことが伺える。</p> <p>【改善策】運動の数が多く、家庭や地域との連携を図りながら、児童の生活改善に向けての取り組みを行っていく。学校でも、縦割り班活動や業間での活動を通して、継続的に体力向上への取り組みを行っていく。</p>	

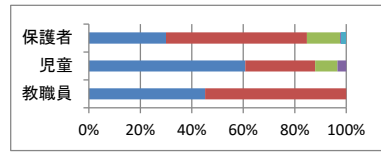
<h3 style="text-align: center;">①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <h3 style="text-align: center;">②特別支援教育の推進</h3> <h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>【分析】どの項目も保護者・児童と教職員との差が見られ、学校での取り組みがまだ十分に伝わっていないことが伺える。いじめや問題へも迅速かつ組織的な対応を心がけているものの、保護者との連携をより密にとっていく必要がある。</p> <p>【改善策】常にアンテナを高くし、児童のわずかな変化も見逃さないようにする。いじめや問題事案に対しては、早急に事実確認を行うとともに、保護者にも伝え、解決に向けての理解と協力を得るようにする。また、全職員で共通理解を図り、組織的な対応を心がけていく。</p> </td> </tr> </table>	<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。</p>	<h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<h3 style="text-align: center;">②特別支援教育の推進</h3> <h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>	<p>【分析】どの項目も保護者・児童と教職員との差が見られ、学校での取り組みがまだ十分に伝わっていないことが伺える。いじめや問題へも迅速かつ組織的な対応を心がけているものの、保護者との連携をより密にとっていく必要がある。</p> <p>【改善策】常にアンテナを高くし、児童のわずかな変化も見逃さないようにする。いじめや問題事案に対しては、早急に事実確認を行うとともに、保護者にも伝え、解決に向けての理解と協力を得るようにする。また、全職員で共通理解を図り、組織的な対応を心がけていく。</p>			
<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。</p>	<h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<h3 style="text-align: center;">②特別支援教育の推進</h3> <h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>					
<p>【分析】どの項目も保護者・児童と教職員との差が見られ、学校での取り組みがまだ十分に伝わっていないことが伺える。いじめや問題へも迅速かつ組織的な対応を心がけているものの、保護者との連携をより密にとっていく必要がある。</p> <p>【改善策】常にアンテナを高くし、児童のわずかな変化も見逃さないようにする。いじめや問題事案に対しては、早急に事実確認を行うとともに、保護者にも伝え、解決に向けての理解と協力を得るようにする。また、全職員で共通理解を図り、組織的な対応を心がけていく。</p>							

<h3 style="text-align: center;">①子どもたちの身近な安全対策の充実</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p> </td> <td style="width: 66%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【分析】90%超の児童が、安全を意識した行動ができています。</p> <p>【改善策】家庭や地域の協力を得ながら、児童の危機管理意識、対応力を更に高めていく。自転車乗車時のヘルメット着用を徹底させていく。</p> </td> </tr> </table>	<h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>		<p>【分析】90%超の児童が、安全を意識した行動ができています。</p> <p>【改善策】家庭や地域の協力を得ながら、児童の危機管理意識、対応力を更に高めていく。自転車乗車時のヘルメット着用を徹底させていく。</p>		<h3 style="text-align: center;">②最適な学習環境の整備</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p> </td> <td style="width: 66%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【分析】校舎の老朽化が進んでおり、施設・設備の不備の指摘が多い。</p> <p>【改善策】安全点検を確実に行うとともに、補修等は迅速に行う。（予算に制約があるため、優先順位をつけて対応する。）</p> </td> </tr> </table>	<h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>		<p>【分析】校舎の老朽化が進んでおり、施設・設備の不備の指摘が多い。</p> <p>【改善策】安全点検を確実に行うとともに、補修等は迅速に行う。（予算に制約があるため、優先順位をつけて対応する。）</p>	
<h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>									
<p>【分析】90%超の児童が、安全を意識した行動ができています。</p> <p>【改善策】家庭や地域の協力を得ながら、児童の危機管理意識、対応力を更に高めていく。自転車乗車時のヘルメット着用を徹底させていく。</p>									
<h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>									
<p>【分析】校舎の老朽化が進んでおり、施設・設備の不備の指摘が多い。</p> <p>【改善策】安全点検を確実に行うとともに、補修等は迅速に行う。（予算に制約があるため、優先順位をつけて対応する。）</p>									

③家庭・地域社会との連携強化

13 教育方針・目標の理解

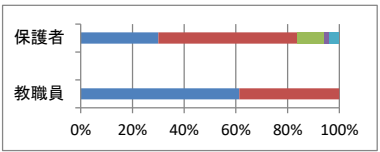
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



【分析】教育方針や教育目標については保護者に十分理解されていないところがある。また、家庭や地域との連携に関しても、保護者の意識は教職員と比較すると低い。
 【改善策】教育方針や教育目標、学校での児童の活動については学級・学校便りや学校HP等で積極的に発信していく。また、家庭や地域の思いに耳を傾けるとともに、適宜協力を得ながら、学校教育活動を推進していく。

14 家庭や地域との連携協力

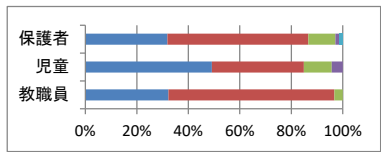
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



⑧本校の教育

15 「あ・そう・だ」運動の徹底

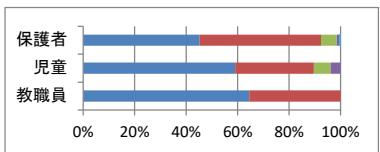
子どもは「あ・そう・だ」運動を実践していると思いますか。



【分析】生徒指導部や児童会での取り組みにより、「あ・そう・だ」運動（あいさつ・そうじ・だれとでもなかよく）に対する児童の意識は保護者・教職員と比較すると高い。「早寝・早起き・朝ごはん」および体力づくりの実践については、児童の意識と保護者・教職員の意識とのずれが見られる。
 【改善策】「あ・そう・だ」運動については、実践と振り返りを通して、児童が主体的に取り組めるようにしていく。授業改善については、児童の実態を把握し、一人ひとりが学ぶことの楽しさを実感できる授業の創造を行っていく。基本的な生活習慣の育成に関しては、本校の大きな課題の一つでもあるので、家庭や地域と連携・協力し、共通理解を図りながら取り組んでいく。

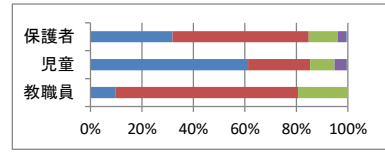
16 授業改善の取組

学校は、授業改善の取り組みに力を入れていると思いますか。



17 基本的な生活習慣と体力の向上

子どもが、「早寝・早起き・朝ごはん」ができ、自分に合った体力づくりに取り組むことができていると思いますか。



来年度の具体的な取り組みについて

- 教育方針・教育目標については、まずは教職員間で共通理解を図り、授業等でもその具現化を意識していく。また、学級・学校便り、学校HP、PTA新聞、諸団体会合などあらゆる機会を通して情報発信を行っていく。
- 熊本市学力検査の結果を分析し、まずは、児童の課題を明らかにする。その課題克服に向け、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を行うとともに、教科横断的な視点を持った教育課程の見直しを行っていく。
- タブレット等のICT機器を活用し、学習者主体の授業づくりを行う。教職員間でも随時研修を行いながらICT機器の効果的な活用法を工夫していく。
- 学力面での個人差が大きい算数においては、3学年以上での少人数（習熟度別）指導を継続し、個に応じた学習の更なる徹底を図っていく。また、学習部活動や学びノート教室など放課後を利用した学力充実対策を行っていく。
- 本年度作成した「家庭学習の手引き」の徹底が図られるよう保護者にも啓発し、児童の自主的学習態度を育成していく。
- 特に支援が必要な児童に関しては、特別支援コーディネーターを中心に全職員で共通理解を図り、組織的な支援体制を整えていく。SCやSSW等とも連携し、適宜アドバイスを受けながら、継続的な支援を行っていく。
- 総合的な学習の時間を中心に保護者・地域との人材交流、情報の共有をさらに進め、地域に根ざした教育を充実させる。
- 体力向上策として、体力テストの結果を分析し、伸ばしたい力を意識した授業改善や全校体育の実施を行う。本年度から取り組んだ全校ドッジボール大会は、児童にも好評であり、投力強化につながった。

学校関係者評価

- 児童の「健康と元気」が何よりだと思ふ。子どもたちが元気ではつつとしていた姿は、先生方の「健康で元気」な姿が反映されているのではないかと先生方にはいつも感謝している。
- 運動会や学習発表会での子どもたちの姿には感銘を受けた。「笑顔あふれる学校づくり」というテーマが掲げられているが、行事の中で子どもたちの笑顔は保護者・地域の笑顔にもつながるものである。
- 電子黒板やタブレットが導入され、授業の様子が変わってきている。先生方の工夫が感じられ、子どもたちも楽しそうに参加できていた。
- 遅刻の減少、SNS利用に関するルールづくり、また、その徹底は今後の課題である。学校だけでは解決できるものではないので、家庭や地域と共通理解・共通実践を図りながら子どもたちの健全育成につなげていきたい。
- 初めての試みであった学校と地域との「合同防災訓練」ができたことはよかった。今年度の反省を基に、次年度以降も継続して取り組むことにより、危機管理意識の醸成ならびに学校と地域の連携強化を図っていききたい。
- 地域行事に子どもたちがたくさん参加してくれることが魅力ある地域づくりにつながるものと考えている。地域を愛する子どもたちが増え、自分のできることから進んで地域行事に参画できるようになることを願っている。